



## 安全データシート JAM2006 Blue (SB) Ink

### 1: 化学品及び会社情報

#### 製品特定名

製品名 JAM2006 Blue (SB) Ink  
製品番号 71000742, 71000743, 71000744, 71000745, 71000747  
コンテナサイズ 6 x 1 Liter, 2 x 4 Liter, 4 x 4 Liter, 5 Gallon Pail, 55 Gallon Drum

#### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 印刷インキ。  
推奨されない用途 意図された用途にのみ使用すること。

#### 安全データシートの供給者の詳細

供給者 Matthews Marking Systems  
3159 Unionville Road, Suite 500  
Cranberry Township, PA 16066  
412.665.2500  
412.828.4545  
info@matw.com

製造者 Matthews Marking Systems  
Zona Franca La Lima  
Multitenant #8  
Cartago, Costa Rica 30106  
(506) 4000-1103

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 Chemtrec US : 1-800-424-9300 Chemtrec World: 1-703-527-3887

### 2: 危険有害性の要約

#### 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 引火性液体 区分2 - H225  
健康有害性 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336  
環境有害性 区分外

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。  
H318 重篤な眼の損傷。  
H336 眠気又はめまいのおそれ。

## JAM2006 Blue (SB) Ink

### 注意書き

P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

### 3：組成及び成分情報

#### 混合物

|                |         |
|----------------|---------|
| N-Propanol     | 90-100% |
| CAS番号: 71-23-8 |         |

#### 分類

引火性液体 区分2 - H225  
 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318  
 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336

#### Solvent Blue 70 Mixture

1-&lt;5%

CAS番号: 独占所有物

#### 分類

区分外

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

#### 組成に関する注釈

この材料には、米国環境保護庁 (EPA) の大気汚染防止法で定義されている有害大気汚染物質 (HAPS) は含まれていません。

### 4：応急措置

#### 応急措置の説明

##### 一般情報

医師に具体的な診断を求めること。医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。医療関係者にこの安全データシートを見せること。

##### 吸入

被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。医師に具体的な診断を求めること。

##### 経口摂取

直ちに医師の手当てを受けること。口を水で十分にすすぐこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。医療関係者の指示がない限り無理に吐かせてはならない。

##### 皮膚接触

直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。水で数分間注意深く洗うこと。洗った後に症状が出た場合には直ちに医師の手当てを受けること。衣類および靴を再使用する前によく洗うこと。

##### 眼接触

直ちに多量の水で洗うこと。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。

##### 応急措置をする者の保護

応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

##### 一般情報

製品は通常の使用状態下では危険有害性は低いと考えられる。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さ依存して変化する。健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。

## JAM2006 Blue (SB) Ink

|      |  |
|------|--|
| 吸入   | 高濃度のガスまたは蒸気は呼吸器系を刺激するおそれがある。過剰暴露は中枢神経系を抑制し、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。                         |
| 経口摂取 | この製品は中刺激性である。吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。  |
| 皮膚接触 | 長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。  |
| 眼接触  | 蒸気またはスプレーが眼に入ると刺激と痛みを引き起こすおそれがある。一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。長期にわたり接触すると発赤および/または流涙を引き起こすおそれがある。 |

### 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症候に基づいた処置を行うこと。

### 5: 火災時の措置

#### 消火剤

適切な消火剤 耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。

使ってはならない消火剤 水スプレー。

#### 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 引火性液体及び蒸気。蒸気は空気より重いので地表近くで広がり着火源まで相当な距離を移動して逆火するおそれがある。

有害燃焼副産物 熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)。一酸化炭素 (CO)。

#### 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 区域から避難すること。安全に対処できるならば漏洩を止めること。水を使用して火災にさらされた容器を冷却すると共に蒸気を分散させること。水スプレーを使用して蒸気を減少させること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

### 6: 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。皮膚、眼および衣類との接触を避けること。蒸気の吸入を避けること。流出物の取扱い後は十分洗うこと。緊急時の汚染除去および廃棄の手順および訓練が適切であることを確認すること。

#### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。環境汚染を避けるために、適切な容器を使用すること。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 すべての点火源を排除すること。安全に対処できるならば漏洩を止めること。流出した物質に触れたりその中に踏み込んだりしないこと。床およびその他の表面が滑べりやすくなる場合があるので注意すること。砂、土またはその他の不燃材料で流出物を封じ込めて吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

#### 他の項目の参照

## JAM2006 Blue (SB) Ink

### 他の項目の参照

個人保護具については、項目8を参照。健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。生態学的危険有害性についての追加情報は、項目12を参照。廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

### 7: 取扱い及び保管上の注意

#### 安全な取扱いのための予防措置

##### 使用上の予防措置

この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。

##### 職業衛生全般に関する助言

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。優良個人衛生手順を実行しなければならない。取扱い後はよく洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

#### 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

##### 保管上の予防措置

4.4°C/40°Fから32.2°C/90°Fまでの間で保管する。換気の良い冷所に最初の容器中でのみ保管する。凍結および直射日光から保護すること。使用しないときは必ず容器を密閉しておくこと。容器を立てておくこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。国の規則に従って保管すること。

##### 保管クラス

引火性液体の保管。

#### 特定最終用途

##### 特定最終用途

この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

### 8: ばく露防止及び保護措置

#### ばく露防止

##### 保護具



##### 適切な設備対策

この製品には暴露限界値が設定されている成分が含まれているので、使用により粉塵、フューム、ガス、蒸気またはミストが生じる場合には、行程囲壁、局所排気装置またはその他の設備対策を使用して労働者暴露をあらゆる法定または推奨限界値未満に維持しなければならない。防爆型の換気装置を使用すること。

##### 眼/顔面の保護

顔面に密着する、化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面を着用すること。

##### 手の保護

耐薬品性、不浸透性の手袋の着用が推奨される。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手袋は次の材料で作られていることが推奨される: ブチルゴム。ニトリルゴム。ゴム(天然、ラテックス)。頻繁に交換することが推奨される。

##### その他の皮膚及び身体の保護

皮膚に触れないようにする。回復したまたは長期にわたる皮膚接触を防止するために適切な衣類を着用すること。

##### 衛生措置

取扱い後は汚染された皮膚をよく洗うこと。洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。

##### 呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること: 有機蒸気フィルタ。

##### 熱的危険性

高温の製品に接触するリスクがある場合には、着用する全ての保護具は高温での使用に適したものでなければならない。

##### 環境ばく露の防止

使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。

### 9: 物理的及び化学的性質

## JAM2006 Blue (SB) Ink

### 物理的及び化学的性質に関する情報

|                |   |
|----------------|---|
| 外観             | 着色した液体。   |
| 色              | 青色。   |
| 臭い             | アルコール臭。   |
| 融点             | -127°C/-196.6°F   |
| 初留点及び沸騰範囲      | 97°C/207°F @ 760 mm Hg  |
| 引火点            | 23°C/73°F クローズドカップ。   |
| 蒸発速度           | 0.89 (酢酸ブチル = 1)  |
| 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 | 燃焼/爆発上限界: 14 % vol 燃焼/爆発下限界: 2.2 % vol  |
| 蒸気圧            | 14.5 mm Hg @ 20°C/68°F  |
| 蒸気密度           | 2.1   |
| 相対密度           | 0.828 g/cc 828 g/l 6.91 lbs/gal   |
| 溶解度            | 次の物質に可溶性: アルコール。水に完全に溶解性。   |
| 分配係数           | log Pow: 0.05   |
| 自己発火温度         | 413°C/775.4°F   |
| 分解温度           | 該当しない。  |
| 爆発特性           | 該当しない。  |
| 酸化特性           | 該当しない。  |
| 注釈             | 記載されている情報は供給時の製品に適用される。「データ無し」または「該当しない」と公表されている情報は適切な防止措置の実施に関連しないと考えられる情報である。 |
| 揮発性有機化合物       | この製品は最大含有量788g/lのVOCを含んでいる。この製品は最大含有量6.56lbs/galのVOCを含んでいる。                     |
| 有害大気汚染物質含有量    | 0.00  |

### 10: 安定性及び反応性

|            |  |
|------------|--|
| 反応性        | この製品に関連する反応危険有害性は知られていない。                                  |
| 安定性        | 標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。                                   |
| 避けるべき条件    | 次の条件を避けること: 熱、火花、炎。  |
| 混触危険物質     | 次の物質との接触を避けること: 強酸化剤。                                      |
| 危険有害な分解生成物 | 加熱すると次の生成物を生じるおそれがある: 二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。一酸化炭素 (CO)。 |

### 11: 有害性情報

|                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| 有害性情報            |                                 |
| 毒物学的影響           | 記載されている情報は、成分および類似した製品のデータに基づく。 |
| 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 |                                 |
| 標的臓器             | 中枢神経系 眼 消化管 呼吸器系、肺 皮膚           |

## JAM2006 Blue (SB) Ink

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露

標的臓器 皮膚

成分に関する毒性学的情報N-Propanol急性毒性 - 吸入急性吸入毒性 (LC<sub>50</sub>粉じん 9.9 /ミストmg/l)急性吸入毒性推定値 9.9  
(ATE) (粉じん/ミスト mg/l)眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性眼に対する重篤な損傷性 強い眼刺激。  
/ 眼刺激性特定標的臓器毒性 - 単回ばく露

標的臓器 中枢神経系

## 12: 環境影響情報

成分に関する生態学的情報N-Propanol急性水生毒性急性毒性 - 魚類 LC<sub>50</sub>, 96 時間: > 804 mg/l, Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)急性毒性 - 水生無脊椎動物 LC<sub>50</sub>, 96 時間: > 804 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)急性毒性 - 水生植物 EC<sub>50</sub>, 48 時間: >100 mg/l, Pseudokirchneriella subcapitata慢性水生毒性

慢性毒性 - 水生無脊椎動物 無影響濃度 (NOEC), 21 日: &gt;100 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

残留性・分解性成分に関する生態学的情報N-Propanol

残留性・分解性 製品は易生物分解性である。

生分解 土壌 - 分解 75%: 20 日

生物学的酸素要求量 <2000 mg O<sub>2</sub> / l化学物質酸素要求量 0.071 g O<sub>2</sub>/g物質生体蓄積性

分配係数 log Pow: 0.05

## 13: 廃棄上の注意

廃棄上の注意

## JAM2006 Blue (SB) Ink

### 一般情報

廃棄物の生成を最小限に抑えるか、可能であれば避けなければならない。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。現地の規制に従って廃産物または使用済み容器を廃棄すること。この製品、プロセス溶液、残渣および副産物の廃棄は常に環境保護と廃棄物処理に関する法令の要件および全ての地方管轄当局の要件を遵守して行わなければならない。

### 廃棄方法

国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

### 14 : 輸送上の注意

#### 国連番号

国連番号 ( 道路輸送/鉄道輸送 ) 1210

国連番号 ( IMDG ) 1210

国連番号 ( ICAO ) 1210

#### 品名 ( 国連輸送名 )

品名 ( 国連輸送名 ) ( 道路輸送/鉄道輸送 ) PRINTING INK

品名 ( 国連輸送名 ) ( IMDG ) PRINTING INK

品名 ( 国連輸送名 ) ( ICAO ) PRINTING INK

#### 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )

道路輸送/鉄道輸送クラス 3

道路輸送/鉄道輸送分類コード F1

道路輸送/鉄道輸送ラベル 3

IMDGクラス 3

ICAOクラス / 区分 3

#### 輸送ラベル



#### 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 III

IMDG容器等級 III

ICAO容器等級 III

#### 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質  
該当せず。

#### 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 ( EmS ) F-E, S-D

## JAM2006 Blue (SB) Ink

危険物識別番号 ( 道路輸送/鉄道輸送 ) 30

### 15 : 適用法令

#### インベントリー

##### EU (EINECS/ELINCS)

全ての成分は記載されているかまたは免除されている。

##### カナダ (DSL/NDSL)

全ての成分は記載されているかまたは免除されている。

##### 米国 (TSCA)

全ての成分は記載されているかまたは免除されている。

##### オーストラリア (AICS)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*

*Xylene*

##### 日本 (化審法)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*

*Xylene*

##### 韓国 (KECI)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*

*Xylene*

##### 中国 (IECSC)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*

*Xylene*

##### フィリピン (PICCS)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*

*Xylene*

##### ニュージーランド (NZIOC)

次の成分はリストに記載されている :

*N-Propanol*

*Isobutanol*



## JAM2006 Blue (SB) Ink

Ethylbenzene

Xylene

### 台湾 (TCSI)

次の成分はリストに記載されている :

N-Propanol

Isobutanol

Ethylbenzene

Xylene

### 16 : その他の情報

|            |  |
|------------|--|
| 発行者        | Matthews Marking Systems - Chemical Services Department  |
| 改訂日        | 2020/04/19   |
| 改訂版        | 5  |
| 更新日        | 2018/07/08   |
| SDS番号      | 5041   |
| SDSの現状     | 承認済み。  |
| 危険有害性情報の全文 | H225 引火性の高い液体及び蒸気。<br>H318 重篤な眼の損傷。<br>H336 眠気又はめまいのおそれ。 |

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。